

世界トップラス大学として日本から50校が選出

～英国 Quacquarelli Symonds社 『2023年版QS世界大学ランキング』発表～

河合塾グループの株式会社KEIアドバンスが日本地区オフィシャルパートナーである世界的な高等教育コンサルタント機関である英国QS社（Quacquarelli Symonds社）は、6月9日（木）午前5時（日本時間）に、第19版となるQS世界大学ランキングを発表しました。今回の発表では日本の大学が50校選出されています。

■世界1位は11年連続でマサチューセッツ工科大学。東京大学は前年と同じ23位に。

【日本地区サマリー（抜粋。全文は別紙参照）】

- 東京大学は23位を維持。京都大学は3つ順位を下げ36位に。前回100以内の東京工業大学、大阪大学、東北大学はランクアップ。
- アジア地区Top10には、東京大学が第6位、京都大が第9位にランクイン
- 全体では、19校がランクダウン、11校がランクアップ、18校がランク維持。立命館アジア太平洋大学と関西学院大学が新たにランクイン。

QS世界大学ランキング2023：国内大学Top15		
2023	2022	大学名
23	23	東京大学
36	33	京都大学
55	56	東京工業大学
68	75	大阪大学
79	82	東北大学
112	118	名古屋大学
135	137	九州大学
141	145	北海道大学
197	201	慶應義塾大学
205	203	早稲田大学
312	285	筑波大学
338	343	広島大学
363	386	神戸大学
392	381	東京医科歯科大学
490	477	千葉大学

英国 QS 社シニアバイスプレジデント
ベン ソーター氏コメント

QS 世界大学ランキングの中で日本の大学は苦戦を強いられていますが、その背後にある理由を理解することが極めて重要です。我々のデータは、世界の学術関係者が日本の大学を依然として高く評価していることを示唆していますが、その一方で、日本の大学ランキングの下落の主な原因は研究業績の低下であることを示しています。これは過去 20 年にわたる日本の知的資本への過小投資の結果であり、日本の博士号取得者数は 2003 年のほぼ半分です。博士号取得者を絶え間なく増やし続けている中国と日本とは、一線を画していると言えるでしょう。（全文は別紙参照）

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2022

<https://www.TopUniversities.com/>。無断複写、転載を禁じます。

ランクインした日本の50校など詳細な結果は別紙（英国QS社の日本向け公表資料）をご覧ください。

－本件に関する報道関係者様のお問い合わせ先・取材申込先－

株式会社 KEI アドバンス QS パートナー事務局 【TEL】 03-5276-2731

【E-mail】 qs-partner@keiadvanced.jp 【受付時間】 9:00～18:00（土日祝・年末年始を除く）

2023 年版 QS 世界大学ランキング

世界のトップクラスの大学として日本の大学 50 校が選出

ロンドン、2022 年 6 月 9 日：世界的な高等教育評価機関である QS Quacquarelli Symonds は、本日、世界で最も信頼性の高いと称される世界大学ランキングの第 19 版を発表しました。マサチューセッツ工科大学は、11 年連続で世界第 1 位となり、記録を更新しました。東京大学は 23 位を維持し、京都大学（36 位）は 3 つ順位を下げ、東京工業大学（55 位）は 1 つ順位を上げ、2023 年の [QS 世界大学ランキング](#) にランクインしました。今回の発表では日本の大学が 50 校含まれています。このうち：

- 19 校がランクダウン(38%)。
- 11 校がランクアップ(22%)。
- 18 校（36%）がランク維持。
- そして 2 校が今回新たにランクインしました。

QS 世界大学ランキング 2023: 国内大学 Top15		
2023	2022	大学名
23	23	東京大学
36	33	京都大学
55	56	東京工業大学
68	75	大阪大学
79	82	東北大学
112	118	名古屋大学
135	137	九州大学
141	145	北海道大学
197	201	慶應義塾大学
205	203	早稲田大学
312	285	筑波大学
338	343	広島大学
363	386	神戸大学
392	381	東京医科歯科大学
490	477	千葉大学

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2022 <https://www.TopUniversities.com/>. All rights reserved.

シンガポール国立大学は5年連続でアジア地区のTop大学として認識されています。また、アジア地区の中で北京大学と清華大学はアジアで2位と3位の大学、そして、東京大学は6位、京都大学は9位にランクインしています。

QS 世界大学ランキング 2023: アジア地区 Top10 の大学			
2023	2022	大学名	国・地域
11	11	シンガポール国立大学	シンガポール
12	18	北京大学	中国
14	17	清華大学	中国
19	12	南洋理工大学	シンガポール
21	22	香港大学	香港
23	23	東京大学	日本
29	36	ソウル国立大学	韓国
34	31	復旦大学	中国
36	33	京都大学	日本
38	39	香港中文大学	香港

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2022, <https://www.TopUniversities.com/>. All rights reserved.

アジアの国・地域の中で、日本は世界トップ200にランクインする大学が最も多く（9校）、トップ300では2番目に多く（10校）、世界トップ500では3番目に多い（15校）国・地域となっています。

QS 世界大学ランキング 2023 の中のアジア								
国・地域	ランクインした大学数	Top 10	Top 20	Top 50	Top 100	Top 200	Top 300	Top 500
中国	71		2	5	6	7	13	28
シンガポール	3		2					
香港	7			3	5		6	
韓国	41			2	6	8	10	17
日本	50			2	5	9	10	15
マレーシア	24				1	4	7	9
台湾	26				1	2	4	10
インド	41					3	6	9
インドネシア	16						3	5
タイ	10						2	

ブルネイ	2						1	2
パキスタン	13							3
フィリピン	4							1
マカオ	2							1
ベトナム	5							
バングラデシュ	4							
スリランカ	2							

日本：データの内側から見えてくるもの：

QS のデータによると、東京大学はランキングの集計に使用した指標の大半において、引き続き優秀な成績を収めていることがわかります。

例えば、

- QS の指標である「学術関係者からの評判 (Academic Reputation)」では満点 (100/100) を獲得しており、世界各国の学術関係者からの高い評価を得ています。
- 「雇用主からの評判 (Employer Reputation)」はほぼ満点 (99.7/100) で、過去 1 年間で雇用者からの評判が向上しています。
- QS の教育へのコミットメント指標である ST 比 (Faculty/Student Ratio) は 91.9/100 を獲得しています。
- QS の新しくかつ今回のランキング評価の重み付けなしの指標である (Employment Outcomes) のスコアでは 97.8/100 で世界 33 位にランクインしています。
- しかしながら、「教員一人当たりの被引用率」の指標では前年から 25 位順位を落とし、世界 128 位となっています。

その他、日本の大学の注目すべき結果は以下の通りです。

- 京都大学 (33 位) は 3 つ順位を下げました。
- 東京工業大学 (55 位、1 ランク上昇) は、2009 年版以降で最も高い順位を記録しています。
- 大阪大学 (68 位、7 ランク上昇) は、雇用主からの評判調査および QS の研究インパクト 指標を向上させています。
- 慶應義塾大学 (197 位、4 ランク上昇) は、トップ 200 に返り咲きました。

下の表は、QS の指標に基づく日本の大学でランキングインした 50 校の順位の前年比および 各指標のトップパフォーマンス大学を示しています。

指標	下降	上昇	維持	新たに ランクイン
学術関係者からの評判	38	7	3	2
雇用主からの評判	25	23		2
ST 比	42	5	1	2
教員一人当たりの被引用率	45	3		2
外国人教員比率	33	14	1	2
外国人学生比率	38	9	1	2

指標別の日本のトップパフォーマンス大学（※順位はグローバルでのもの）			
大学名	2023 総合順位	スコア	指標別順位
東京大学	23	100.0	7
東京大学	23	99.7	9
東京医科歯科大学	392	100.0	7
東京大学	23	73.3	128
立命館アジア太平洋大学	801-1000	99.4	83
立命館アジア太平洋大学	801-1000	99.9	25

QS の Senior Vice President である Ben Sowter は、次のように述べています。

「QS 世界大学ランキングの中で日本の大学は苦戦を強いられていますが、その背後にある理由を理解することが極めて重要です。我々のデータは、世界の学術関係者が日本の大学を依然として高く評価していることを示唆していますが、その一方で、日本の大学ランキングの下落の主な原因は研究業績の低下であることを示しています。これは過去 20 年にわたる日本の知的資本への過小投資の結果であり、日本の博士号取得者数は 2003 年のほぼ半分です。博士号取得者を絶え間なく増やし続けている中国と日本とは、一線を画していると言えるでしょう。」

Sowter は以下のようにも付け加えています。

「この種の基金としては世界最大となる 100 兆円（820 億ドル）の大学ファンドがこの春、日本で初めて正式に発足されていますが、現在このファンドの運営に携わっている人々によれば、日本が革新的な競争力に真剣に取り組む必要があることを明確に認識しているとのこと。このファンドは、“University of Excellence”の創設計画とともに、世界最速の高齢化社会である日本が直面する問題の解決に向けて、イノベーションに資する財政、構造、規制環境を早急に構築しなければならないという認識から生まれました。新しいこのファンドは、衰退しつつある日本の研究活動の復活に向けた有望な一歩ですが、その成果がランキングに現れるまでには何年もかかるでしょう」。

QS 世界大学ランキング 2023 概要：

今年の QS 世界大学ランキングは、昨年の 1300 校から 100 校以上増え、1418 校となり、過去最大規模となりました。この結果は、2016 年から 2020 年の間に発表された 1640 万件の学術論文の分布と業績、およびそれらの論文が受けた 1 億 1780 万件の引用を考慮し、さらに 15 万 1000 人以上の学術関係者と 9 万 9000 人以上の雇用主の皆様方からの意見も反映されています。

- マサチューセッツ工科大学は、11 年連続の世界一という記録的な偉業を達成しました。
- 2 位はケンブリッジ大学、3 位はスタンフォード大学となっています。
- 中国は、北京大学（12 位）、清華大学（14 位）の 2 校が世界トップ 15 に入り、世界大学ランキング発表以来、最高の順位を獲得しました。
- シンガポール国立大学が 5 年連続の 11 位となり、アジアでの最高位の大学となりました。
- スイスのチューリッヒ工科大学（9 位）は引き続きヨーロッパ大陸における最高位の大学であり、ブエノスアイレス大学（UBA）は引き続きラテンアメリカの最高位の大学となっています。

▶ QS 世界大学ランキング 2023: 世界トップ 20 大学

2023 ランク	2022 ランク		
1	1	マサチューセッツ工科大学	米国
2	3	ケンブリッジ大学	英国
3	3	スタンフォード大学	米国
4	2	オックスフォード大学	英国
5	5	ハーバード大学	米国
6	6	カリフォルニア工科大学	米国
6	7	インペリアル・カレッジ・ロンドン	英国
8	8	UCL ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン	英国
9	8	チューリッヒ工科大学-スイス連邦工科大学	スイス
10	10	シカゴ大学	米国
11	11	シンガポール国立大学	シンガ ポール
12	18	北京大学	中国
13	13	ペンシルバニア大学	米国
14	17	清華大学	中国
15	16	エジンバラ大学	英国
16	14	EPFL	スイス
16	20	プリンストン大学	米国
18	14	イエール大学	米国
19	12	南洋工科大学 (シンガポール)	シンガ ポール

20

21

コーネル大学

米国

© QS Quacquarelli Symonds 2004-2022, <https://www.TopUniversities.com/>. All rights reserved.

全ランキングは、以下のサイトで6月9日（木）午前5時00分（日本時間）よりご覧いただけます。www.TopUniversities.com

評価方法

QSは6種類の指標を利用して当ランキングを作成しています：

- (1) **Academic Reputation**（学術関係者からの評判（40%））：151,000人以上の学術関係者からの調査回答に基づいています。
- (2) **Employer Reputation**（雇用者からの評判（10%））：99,000社以上の雇用主から得た、教育機関と卒業生の雇用関係についての調査回答に基づいています。
- (3) **Citations per Faculty**（教員一人当たりの論文被引用数（20%））：研究へのインパクトを測定するもので、大学の研究論文が5年間に受けた引用回数の合計を、大学の教員数で割ったものです。
- (4) **Faculty/Student Ratio**（学生一人当たりの教員比率（20%））：教育へのコミットメントとしての代用指標。学生数を教員数で割ったもので、世界の学生が自分の選んだ教育機関のクラス規模を知ることができる指標です。
- (5) **International Faculty Ratio**（外国人教員比率（5%））：国際化の度合いを測定するQSの2つの指標の1つであり、各大学の外国人教員の比率を測定するものです。
- (6) **International Student Ratio**（留学生比率（5%））：国際化の度合いを測定するQSの2つの指標のもう一方であり、各大学の留学生の比率を測定するものです。海外の学生から見た大学の国際的な魅力度を間接的に表しています。
- (7) **Employment Outcomes**（雇用結果（0%））：エンプロイヤビリティを評価するものです。
- (8) **International Research Network**（国際研究ネットワーク（0%））：国際的な研究協力や知識移転について分析するものです。

評価方法に関する詳しい情報は、こちらで閲覧できます：

<https://www.topuniversities.com/qs-world-university-rankings/methodology>

—以上—

各メディア編集者のためのメモ

QS 世界大学ランキング 2023 にランクインした日本の大学		
2023 ランク	2022 ランク	
23	23	東京大学
36	33	京都大学
55	56	東京工業大学
68	75	大阪大学
79	82	東北大学
112	118	名古屋大学
135	137	九州大学
141	145	北海道大学
197	201	慶應義塾大学
205	203	早稲田大学
312	285	筑波大学
338	343	広島大学
363	386	神戸大学
392	381	東京医科歯科大学
490	477	千葉大学
501-510	487	横浜市立大学
531-540	531-540	一橋大学
561-570	541-550	新潟大学

571-580	531-540	長崎大学
601-650	601-650	岐阜大学
601-650	601-650	金沢大学
601-650	581-590	岡山大学
601-650	571-580	大阪市立大学
651-700	701-750	群馬大学
651-700	591-600	熊本大学
701-750	651-700	鹿児島大学
701-750	751-800	立命館大学
701-750	651-700	徳島大学
701-750	701-750	東京都立大学
701-750	601-650	東京農工大学
751-800	701-750	大阪府立大学
801-1000	801-1000	国際基督教大学
801-1000	新たにランクイン	立命館アジア太平洋大学
801-1000	801-1000	信州大学
801-1000	801-1000	上智大学
801-1000	801-1000	東京理科大学
801-1000	801-1000	山口大学
801-1000	801-1000	横浜国立大学
1001-1200	1001-1200	同志社大学

1001-1200	801-1000	京都工芸繊維大学
1001-1200	801-1000	九州工業大学
1001-1200	1001-1200	名古屋工業大学
1001-1200	1001-1200	埼玉大学
1001-1200	1001-1200	東海大学
1201-1400	1201+	青山学院大学
1201-1400	1201+	近畿大学
1201-1400	新たにランクイン	関西学院大学
1201-1400	1001-1200	明治大学
1201-1400	1001-1200	立教大学
1201-1400	1201+	芝浦工業大学

QSのアナリストとのインタビューについては以下までお問い合わせください：

Simona Bizzozero

Director of Communications

QS Quacquarelli Symonds

simona@qs.com

+44 (0) 7880620856

William Barbieri

Communications Manager

QS Quacquarelli Symonds

william.barbieri@qs.com

+44 (0) 7880620856

各メディア編集者のためのメモ

QS Quacquarelli Symonds について

QS Quacquarelli Symonds 社は全世界の高等教育機関の関係者にサービス、アナリティクス、コンサルを提供する世界有数の企業です。当社のミッションは、世界中の意欲ある人々のために、教育の成果、留学、キャリア開発を通じて潜在能力を十分発揮できるよう支援することです。

2004年に開始された QS 世界大学ランキングは、大学のパフォーマンスに関する比較データとして世界で最も多く参照された情報源となっています。QS の主要ウェブサイトである

www.TopUniversities.com は、2021年に1億4,700万回閲覧されました。また、QS の調査結果は世界中の報道機関により紹介され、2020年の報道件数は96,000件を超えています。

Scopus について

Scopus は、専門家が監修した包括的な抄録・引用データベースと、様々な分野のデータおよびリンクされた学術文献を独自に統合しています。Scopus は、関連性の高い権威ある研究を素早く見つけ出し、専門家を特定し、信頼性の高いデータ、指標、分析ツールにアクセスすることが可能です。研究、教育、研究の方向性や優先順位を自信を持って進めることができます

<https://www.scopus.com/home.uri>